

# 目標と実績

JSRグループでは、各カテゴリーにおいて長期的な推進項目と年度ごとの目標を設定しています。主要な活動目標と実績についてご報告します。

推進項目	2010年度目標	2010年度実績	評価	2011年度以降の目標	推進部門
CSRマネジメント	● CSRの方針策定と体制構築	● CSRの長期目標実現を目指してCSR活動を推進。前年に始動させたリスク管理、社会貢献活動をさらに前進 ● 東アジアのCSR先進企業30社である「East Asia 30」に選定(2010年12月)	◎	● CSR活動の推進およびグループ全体での意識の浸透度向上	● CSR部
	● 国連グローバル・コンパクト(GC)	● GCネットワークのCSR活動への活用	◎	● グローバル・コンパクトのネットワークを活用した協業の実施	● CSR部
	● コンプライアンスの強化	● 企業倫理意識調査のフォローアップ ● 企業倫理要綱の刷新 ● 法令遵守体制の改善	◎	● 企業倫理意識調査の定期実施とフォローアップ ● 2011年4月に改定された企業理念に沿った倫理要綱の改定と周知化 ● 教育活動の継続	● 企業倫理委員会
	● リスク管理の強化	● 「リスク管理規程」を制定し、リスク管理についての基本方針および経営のコミットメントを明確化(2010年7月) ● 海外拠点を含むグループ全体で全社的リスク管理を実施、12項目の「全社重要リスク」を選定	◎	● 継続活動および改善 ● 危機管理訓練の継続実施と改善	● リスク管理委員会
	● CSR調達*	● CSR調達の運用開始	◎	● CSR調達の対象範囲拡大(2011年度：購買金額ベースで95%)	● 購買部門
RC環境・安全・健康マネジメント	● 環境・安全に配慮した製品の開発	● 環境配慮製品の提供 ● LCA*2の環境負荷低減活動への活用	◎	● 環境配慮型製品開発の推進とラインアップの拡充 ● LCI*3データの環境負荷低減活動への活用検討を継続	
	● 化学物質管理の充実	● GHS*4への対応 ● 欧州REACH*6への対応 ● グリーン調達*7の推進	◎	● 輸出品について、各国の法規制に従いGHS化に適切対応 ● REACH規則とCLP規則への対応 ● サプライチェーンでの連携を重視した活動の推進	
	● 製品品質の継続的向上	● PLP*9活動の展開	◎	● 設計から製造までにとどまらない、原料調達から物流までのサプライチェーン全体にわたる品質管理の向上	
	● 製品に対する環境・安全情報の提供	● 顧客への環境・安全情報の提供	◎	● 顧客への環境・安全情報の確実な提供を継続	
	● 事故・災害の撲滅	● 事前環境・安全評価の実施 ● 大規模地震対策の計画的推進	◎	● 現状の設備、物質、作業等について潜在危険の発掘とその対策を継続 ● 職場の危険箇所、危険作業撲滅とともに、技術の伝承を推進 ● 中期計画に沿って対策を推進	
	● 社会から信頼される事業づくり	● ISO14001、ISO9001の維持審査 ● 保安関係法令認定の維持・継続 ● グループ企業の環境・安全監査	◎	● ISO14001、ISO9001維持・継続 ● 保安関係法令にかかわる認定の更新 ● 国内および海外グループ企業の環境安全監査を継続	● RC推進委員会
	● 環境負荷の低減	● 省エネルギーの推進 エネルギー原単位を1998年度基準で年平均1%削減 ● VOC*10大気排出量削減 ● 排水環境負荷、産業廃棄物等の削減推進 ● 地域環境改善の実施	◎	● 二酸化炭素排出量絶対削減目標「2012年度排出量を1990年度対比6%削減」の達成に向け対策検討。四日市工場に大型天然ガス焼きガスタービンコージェネレーション設備を2010年4月に設置。この設備によるCO2削減効果は約33,000トンであったが、全社の実績は1990年度対比約2%削減 ● 社員の家庭での省エネ活動を継続。環境省「我が家の環境大臣〜環境家計簿」に参加 ● JSRの3工場に設置したRTO*11によりVOC排出量を2000年度対比約80%削減 ● 産業廃棄物に関しては、廃棄物の発生抑制、廃棄物分別の徹底、再資源化先の探索等に全工場一体となって取り組み、2003年度から2010年度まで継続してゴミゼロの目標を達成(最終埋立処分量7トン/年) ● 排水(COD、全窒素、全リン)について第6次総量規制に対応 ● JSRの3工場に設置したRTOによる臭気削減継続 ● 四日市工場に設置したグランドフレアー*12による騒音・遮光対策継続。2010年度は環境苦情なし	
	● 生物多様性への取り組み	● 生物多様性に関する方針策定	◎	● 生物多様性に関するJSRのリスクとチャンスを確認し、方針・目標・計画を策定	
	● ワークライフバランスの支援	● ワークライフマネジメント意識の理解と浸透、浸透のための施策の推進 ● 社内での制度の認知の確実と、向上施策の実施	◎	● ワークライフマネジメント意識の浸透、施策の推進 ● 介護支援策の検討継続	● 人材開発部門
	● 人材の多様化	● 社内風土の醸成、具体的施策の実行、数値目標レベルへの到達(2015年度管理職に占める女性社員5%、2011年度新規採用女性比率:技術系15~20%、事務系40~50%) ● 採用の多様化推進	◎	● 社内風土の醸成 ● 数値目標への到達 ● 採用の多様化推進	
社会貢献	● 社会貢献活動の推進	● 社会貢献新プログラムの導入 ● 地域貢献活動の推進	◎	● さらなる新プログラムの検討および導入 ● 活動継続	● 社会貢献委員会

**用語**

◎: 計画以上に進展  
○: 計画通り推進  
△: さらなる努力が必要

● **\*1 CSR調達**  
環境対応のほか、企業倫理や雇用など社会面での取り組みも実践している調達先から原材料等を調達する取り組み

● **\*2 LCA**  
Life Cycle Assessment  
製品について原料、製造、使用、廃棄の全工程で、環境に与えた影響を定量的に分析・評価する方法

● **\*3 LCI**  
Life Cycle Inventory  
LCAにおいて、製品に関して、資源、エネルギー、環境負荷の入出力データを積算すること

● **\*4 GHS**  
Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals  
化学品の分類および表示に関する世界調和システムで化学品の分類、ラベル表示、MSDS提供を世界的に統一する仕組み

● **\*5 MSDS**  
Material Safety Data Sheet  
製品安全データシート  
化学物質の安全情報を記載したシートで他の事業者に出荷する際に添付する

● **\*6 REACH**  
Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals  
欧州の「化学品の登録、評価、認可および制限」の規則で年間1トン以上製造・輸入する化学品は全て安全性試験データをつけて登録する制度

● **\*7 グリーン調達**  
人の健康に悪影響を及ぼす可能性がある物質の管理を徹底できている調達先から原材料等を調達する取り組み

● **\*8 JAMP**  
Joint Article Management Promotion-consortium  
アーティクルマネジメント推進協議会。サプライチェーンの中で化学物質情報等の円滑な伝達を目的として設立された団体

● **\*9 PLP**  
Product Liability Prevention  
製造物責任予防  
欠陥製品を製造しないための予防活動

● **\*10 VOC**  
Volatile Organic Compounds  
揮発性有機化合物のこと。大気汚染の原因になる

● **\*11 RTO**  
Regenerative Thermal Oxidizer  
VOCを燃焼させ水と二酸化炭素に分解する装置で、よりクリーンな排気を可能にする

● **\*12 グランドフレアー**  
地上置き円筒状炉内で燃焼する形式の排ガス燃焼設備で、通常のフレアースタックより周辺環境への影響が少ない

● そのほかの詳細情報についてはWeb版で報告しています。

●「2010年度実績」のテキスト部分をクリックいただくと詳細ページにリンクします。